

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMIさいたま新都心			
○保護者評価実施期間	2024年12月15日		～	2025年1月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～	2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動療育を行っている。	・個別支援計画やお子様と保護者のニーズに基づいてプログラムを作成している。 ・プログラムが固定化しないようにプログラム内容を記録に残したり、常に新たな方法での提供を模索している。 ・訓練にならないように楽しみながら課題に取り組めるようプログラムを考えている。	・職員同士で意見交換を行ったり、研修に参加したりして知識や技術を高めていく。 ・他教室での取り組みや、知識として知り得たことをお子様たちに提供していく。
2	・季節を感じられるイベントを取り入れている。	・玄関やフロアの装飾や音楽を流し視覚聴覚で感じられるようにしている。 ・創作や運動でも季節感を感じられるものや見立て、想像力を膨らませられるよう環境設定している。	・今まで行った中でもう一度やりたいものやこれからやってみたいものなどご要望があれば取り入れていきたい。
3	・指導員間で情報交換を密に行っている。	・療育の前後で打ち合わせを行い、お子様の目標含めた情報共有やメニューの共有を行っている。 ・保護者様からお話いただいたことに関しても共有事項として残したり、療育前に再共有している。	・支援目標に対しての評価を毎回療育後に行い現状把握をしやすくしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族も参加できる研修や機会の提供がない。	・現状おうちの方に参加していただける体験DAYは行っているが曜日が固定化されていたり人数にも定員があり参加しにくい。研修や情報提供の機会は取れていない。	・体験DAYを作り兄弟含む家族の方に参加してもらう機会を定期的に作っていく。
2	・創作と運動スペースをパーテーションで区切っているが、パーテーションが壊れやすかったり、高さが低いので音が筒抜けになったりと子供達の集中を妨げている時がある。	・空間を2つに分けて行うような設備が整っていない。	・活動を二分化できるような仕切りの導入。 ・運動部屋では、挨拶の時に「声の大きさ」について触れておき子どもたちに意識させる。高揚時に声が大きくなった際には、逃すことなくその場で伝える。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMIさいたま新都心

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数

40名

回収数

28名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	4	1		・工作等の支援が増えたため、運動スペースが狭くなった。 ・工作のスペースが窮屈に感じる。	ご意見ありがとうございます。指導員間で検討し、お子様のひのびと活動できる環境を整えてまいります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1		1	職員の方の入れ替わりが多いと感じる。	ご意見ありがとうございます。職員の入れ替わりが多く申し訳ございません。保護者様に安心してお子様を預けていただけるような教室運営に努めてまいります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	2			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	1					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1			1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27				1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	16	3			
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	3	2	2			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	25	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	4					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1			1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	6	4	4			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2		3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	2	1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25			3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1		2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26			2	・TAKUMIに通所する日をいつも楽しみにしている。 ・季節ごとのイベントを楽しみにしている。	とても嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様が楽しんで通所できるような教室運営に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1			送迎サービスがあるとうれしい。	ご意見ありがとうございます。送迎サービスに関しましては現状は難しいですが貴重なご意見として承ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMIさいたま新都心				公表日	令和 7年 2月 21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・運動と創作で部屋を分けて行っている。 ・人数が多い日はクラスを半分に分けている。 ・比較的広い。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・必ず3人以上配置している。 ・子どもの人数に応じて創作の指導員も運動指導に入ったりと連携を取っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	・創作と運動の部屋の間で仕切りがあったり、自由時間のルールや、声の大きさ等の表示を文字だけでなく、絵や写真を用いて説明されている。 ・創作と運動の部屋で分け、間にはパーテーションを置くなどして安全管理を行なっている。	・支度のスペースが狭く、支度に集中できる環境になっていない。 ・創作と運動スペースをパーテーションで区切っているがパーテーションが壊れやすかったり、高さが低いので音が筒抜けになったりと子供達の集中を妨げている時がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	・教室の運動スペースは広いので、活動に合わせた区間になっている。 ・毎朝掃除が行われており、座る場所等の目印がテープ等で示されている。 ・毎日の清掃と、湿度、温度調節を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・パーテーション、面談室、更衣室を適宜使用している。 ・指導員とお話し、配慮が必要と判断がされた場合には個別の部屋の使用を認められている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・療育前後のMTGにて参画している。 ・連絡事項等を通じて常に全員が教室の状況や改善を図れるようになっている。 ・1日の中で子供の前回の様子を共有し、療育後は子供のフィードバックを毎回行なっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・保護者からの意向や要望についてはミーティングで共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・教室間ではできているが、本社と教室間の改善が見えない。 ・マネージャーとの個別ミーティングがある。 ・何かあった際にはグループLINEや連絡事項等を通じて(又は対面で)意見を発信出来ている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		・第三者による外部評価は行なっていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・様々な研修を行なっている。 ・研修などあった際には誰でも参加することができるようになっている。 ・研修や他教室の療育を見る機会がある。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・利用者一人ひとりに応じたプログラム、支援目標を作成している。 ・個別支援計画を確認し、プログラムを作成している。 ・支援計画を作成するにはなるべく全職員で意見を出し合っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・保護者との面談や職員間でのMTGを基に作成している。 ・保護者の希望を聞き、支援計画を行なっている。 ・アセスメントには時間をかけている。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・児発管と指導員が話をする機会を設けている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・療育前にその日のお子様の支援情報等の読み合わせや打ち合わせを行なっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・統一した書類がある。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・子どもにとって必要な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・療育前後にMTGを行なっている。 ・子どもの話をするときに共有している。 ・イベント(クリスマス・夏祭り等)時には3~4人のチームでプログラムの立案を行なっている。 ・支援目標に基づいて、どのような運動をするべきかなど話し合っている。 ・目標に向けての内容検討の際迷った時には相談し合い決めていく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・日報やサービス提供記録をみて固定化しないようにしている。 ・月の中で週単位のイベントを組み込むようにしている。 ・別の人たちでチームを組む等の工夫がされている。 ・ネットや本、他教室から新しい運動メニューを取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・支援をする際には個別活動と集団活動を組み合わせている。 ・ご要望やそのときのお子様の状況に応じて個別で取り組む場合もある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・日曜日に役割担当を共有している。又、支援開始前には、職員間で共有している。 ・支援情報に合わせて前回の共有をしている。 ・目標なども意識して関わるように支援目標も共有をしている。 ・役割分担についてはその日の状況によって臨機応変を大事にするときもあるが、連携はしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・支援終了後には、打ち合わせを行い、その日行われた支援の共有をしている。 ・その日の疑問や気付きはその日のうちに共有・相談をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・データで残している。 ・支援情報に記入している。必要に応じて個人的にも残している。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・更新のタイミングに合わせて支援計画の見直しをしている。 ・全職員で意見を出し合っている。		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・回数は多くはないが参画している。		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・園・学校に訪問して見学をしている。 ・他事業所や保育園、幼稚園に訪問し、見学や面談を行なっている。		
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・電話や訪問をし共有をしている。 ・保育園や幼稚園に行き、情報を共有している。 ・各学校を訪問した際や、連絡を受けた際に行われている。		

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	・フィードバック時や、お電話などで情報等を共有している。 ・児発管が行なっている。		
	28	(28~30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1	・必要な時には設けている。 ・児発管が行なっている。		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	・地域の親子が参加できるイベントを開催している。			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・共通理解はある。 ・療育終了後にフィードバックを行い、情報の共有をしている。 ・フィードバック時に、お家での様子等も伺っている。 ・フィードバック時には様子を伝えるだけでなく、過程や学校の様子も聞き、今後の関わり等を話している。			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・面談や相談支援、フィードバック時に主に行っている。 ・体験DAYを作り家族の方に参加してもらう機会を作っている。 ・情報提供は行なっている。			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・児発管が行なっている。 ・説明は行なっている。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・面談等で設けている。 ・意向を確認する機会を設けている。 ・支援計画を作成するにあたって面談を行なっている。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・同意を得ている。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・フィードバックの時にも家庭の様子を聞くようにしている。 ・児発管が必要に応じて電話や面談を行っている。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	・少ないがイベントで行っている。		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・何かあった時には情報共有を行い対応している。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・LINE・Instagram等用いて行っている。 ・貼り紙などを使用している。		
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・決められた場所に置くなど留意している。			

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックの時だけ教室内で行っている。 ・フィードバックの時にはマイナスな発言で終わらないよう配慮している。 ・伝え方には配慮している。 ・一人ひとりに合った伝え方、関わりを意識して行っている。 	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・周知はもちろん、実際に訓練をしている。 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な訓練は行なっている。 ・避難訓練を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CPRの研修はあってもいいと思う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・状況を確認している。又、変更等があればすぐに共有をしている。 	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子を配布するときには、アレルギーの表示を掲載し対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の時間がないため必要ない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて研修や訓練を行なっている。 	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の時に伝えをしている。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・方策について検討し共有をしている。 ・職員間で検討し、連絡事項等を通じて全員に周知をしている。 ・他教室のヒヤリハットや事故も共有し同じようなことが起こらないように話し合いをしている。 	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を行なっている。 		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の時に伝えをしている。 		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMIさいたま新都心		
○保護者評価実施期間	2024年12月15日		～ 2024年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動療育を行っている。	・個別支援計画やお子様と保護者のニーズに基づいてプログラムを作成している。 ・プログラムが固定化しないようにプログラム内容を記録に残したり、常に新たな方法での提供を模索している。 ・訓練にならないように楽しみながら課題に取り組めるようプログラムを考えている。	・職員同士で意見交換を行ったり、研修に参加したりして知識や技術を高めていく。 ・他教室での取り組みや、知識として知り得たことをお子様たちに提供していく。
2	・季節を感じられるイベントを取り入れている。	・玄関やフロアの装飾や音楽を流し視覚聴覚で感じられるようにしている。 ・創作や運動でも季節感を感じられるものや見立て、想像力を膨らませられるよう環境設定している。 ・お子様にあわせた内容の提供を考えている。	・今まで行った中でもう一度やりたいものやこれからやってみたいものなどご要望があれば取り入れていきたい。
3	・指導員間で情報交換を密に行っている。	・療育の前後で打ち合わせを行い、お子様の目標含めた情報共有やメニューの共有を行っている。 ・保護者様からお話いただいたことに関しても共有事項として残したり、療育前に再共有している。	・支援目標に対しての評価を毎回療育後に行い現状把握をしやすいようにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族も参加できる研修や機会の提供がない。	・現状おうちの方に参加していただける体験DAYは行っているが曜日が固定化されていたり人数にも定員があり参加しにくい。研修や情報提供の機会は取れていない。	・体験DAYを作り兄弟含む家族の方に参加してもらおう機会を定期的に作っていく。
2	・創作と運動スペースをパーテーションで区切っているが、パーテーションが壊れやすかったり、高さが低いので音が筒抜けになったりと子供達の集中を妨げている時がある。	・空間を2つに分けて行うような設備が整っていない。	・活動を二分化できるような仕切りの導入。 ・運動部屋では、挨拶の時に「声の大きさ」について触れておき子どもたちに意識させる。高揚時に声が大きくなった際には、逃すことなくその場で伝える。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMIさいたま新都心

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数

40名

回収数

30名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	4			・昨年までは運動だけだったので十分でしたが、今年から創作するスペースができどちらも狭いように感じます。	ご意見ありがとうございます。職員間で検討しまして、お子様ののびのびと活動できる環境を整えてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	2		1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29			1	・見た目は清潔ですが、ここ1年ほど上靴が1回でとても汚れます。	ご意見ありがとうございます。お子様が集中して活動に取り組めるよう検討してまいります。また環境につきましては掃除を徹底して行っています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29		1			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3		22	5	・必要ないと思います。	ご意見ありがとうございます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	2	1	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	2	2	5	・ゴールデンウィークなどの連休の時に家族で参加できるイベントがあり、兄弟も参加させていただきありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。引き続きご家族の方にも楽しく参加していただけるようなイベントを取り入れてまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1		1	・昨年までは行きや帰り、必ず先生方から挨拶がありました。今年には人数が多いせいか、ざわついたまま帰ることが多く、子どもが挨拶しても気が付かれないことがあります。	貴重なご意見ありがとうございます。また不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。今後はそのようなことがないよう保護者様に安心してお子様を預けていただけるような教室運営に努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	1	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30				・慣れたところに先生の異動があって残念な時もありましたが、先生方が気さくに声をかけてくださったおかげで、新しい先生でも安心して通所できました。	引き続きお子様が安心して通所できるよう教室運営に努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	1			・毎回楽しみにしています。 ・イベントごとなど楽しみに通うことができているありがたいです。	とても嬉しいご意見ありがとうございます。引き続きお子様に楽しく活動していただけるようなプログラムの計画をしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	1			・いつも親身になってサポート頂き感謝しています。 ・時間が昨年度より長くなったので、支援内容も充実しているイベントもあって満足です。	貴重なご意見ありがとうございます。指導員間で検討しまして、保護者様が安心してお子様を預けていただけるような教室運営に努めてまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMIさいたま新都心				公表日	令和 7年 2月 21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・運動と創作で部屋を分けて行っている。 ・人数が多い日はクラスを半分に分けている。 ・比較的広い。 		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・必ず3人以上配置している。 ・子どもの人数に応じて創作の指導員も運動指導に入ったりと連携を取っている。 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・創作と運動の部屋の間で仕切りがあったり、自由時間のルールや、声の大きさ等の表示を文字だけでなく、絵や写真を用いて説明されている。 ・創作と運動の部屋で分け、間にはパーテーションを置くなどして安全管理を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支度のスペースが狭く、支度に集中できる環境になっていない。 ・創作と運動スペースをパーテーションで区切っているがパーテーションが壊れやすかったり、高さが低いので音が筒抜けになったりや子供達の集中を妨げている時がある。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の運動スペースは広いので、活動に合わせた区間になっている。 ・毎朝掃除が行われており、座る場所等の目印がテープ等で示されている。 ・毎日の清掃と、湿度、温度調節を行っている。 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・パーテーション、面談室、更衣室を適宜使用している。 ・指導員とお話し、配慮が必要と判断がされた場合には個別の部屋の使用を認められている。 		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・療育前後のMTGにて参画している。 ・連絡事項等を通じて常に全員が教室の状況や改善を図れるようになっている。 ・1日の中で子供の前回の様子を共有し、療育後は子供のフィードバックを毎回行なっている。 		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意向や要望についてはミーティングで共有している。 		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・教室間ではできていないが、本社と教室間の改善が見えない。 ・マネージャーとの個別ミーティングがある。 ・何かあった際にはグループLINEや連絡事項等を通じて(又は対面で)意見を発信出来ている。 		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価は行なっていない。 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な研修を行なっている。 ・研修などあった際には誰でも参加することができるようになっている。 ・研修や他教室の療育を見る機会がある。 		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりに応じたプログラム、支援目標を作成している。 ・個別支援計画を確認し、プログラムを作成している。 ・支援計画を作成する際にはなるべく全職員で意見を出し合っている。 		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談や職員間でのMTGを基に作成している。 ・保護者の希望を聞き、支援計画を行なっている。 ・アセスメントには時間をかけている。 		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管と指導員が話をする機会を設けている。 		

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・療育前にその日のお子様の支援情報等の読み合わせや打ち合わせを行っている。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・統一した書類がある。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・子どもにとって必要な支援内容を設定している。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・療育前後にMTGを行っている。 ・子どもの話をするとき共有している。 ・イベント(クリスマス・夏祭り等)時には3~4人のチームでプログラムの立案を行っている。 ・支援目標に基づいて、どのような運動をするべきかなど話し合っている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・日報やサービス提供記録をみて固定化しないようにしている。 ・月の中で週単位のイベントを組み込むようにしている。 ・別の人たちでチームを組む等の工夫がされている。 ・ネットや本、他教室から新しい運動メニューを取り入れている。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・支援をする際には個別活動と集団活動を組み合わせている。 ・ご要望やそのときのお子様の状況に応じて個別で取り組む場合もある。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・日曜日に役割担当を共有している。又、支援開始前には、職員間で共有している。 ・支援情報に合わせて前回の共有をしている。 ・目標なども意識して関わられるように支援目標も共有をしている。 ・役割分担についてはその日の状況によって臨機応変を大事にするときもあるが、連携はしている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・支援終了後には、打ち合わせを行い、その日行われた支援の共有をしている。 ・その日の疑問や気付きはその日のうちに共有・相談をしている。 ・全員がそろったタイミングで、1人1人のその日の情報を記録している。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・データで残している。 ・支援情報に記入している。必要に応じて個人的にも残している。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	¥8		・更新のタイミングに合わせて支援計画の見直しをしている。 ・全職員で意見を出し合っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		・園・学校に訪問して見学をしている。 ・他事業所や保育園、幼稚園に訪問し、見学や面談を行っている。 ・活動の中に自分で選んで行う場を設けている。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・回数は多くはないが参画している。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・電話や訪問をし共有をしている。 ・保育園や幼稚園に行き、情報を共有している。 ・各学校を訪問をした際や、連絡を受けた際に行われている。	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	2		・学校との情報共有(年計など)はできていないため今後行っていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		・保育園や幼稚園に行くことはあるが、就学前に利用していたかどうかまでは追えていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	・現状そのようなお子様がない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	・助言や研修を受けていない。 ・児発管が行なっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・地域の親子が参加できるイベントを開催している。 ・療育終了後にフィードバックを行い、情報の共有を行っている。 ・フィードバック時に様子を伝えるだけでなく、家庭や学校での様子も聞き今後のかわりなども話している。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	・共通理解はある。 ・療育終了後にフィードバックを行い、情報の共有をしている。 ・フィードバック時に、お家での様子等も伺っている。 ・フィードバック時には様子を伝えるだけでなく、過程や学校の様子も聞き、今後の関わり等を話している。 ・体験DAYを作り家族の方に参加してもらっている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・面談や相談支援、フィードバック時に主に行っている。 ・情報提供は行なっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・面談等で設けている。 ・意向を確認する機会を設けている。 ・支援計画を作成するにあたって面談を行なっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		・同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・フィードバック時にも家庭の様子を聞くようにしている。 ・児発管が必要に応じて電話や面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	2	・少ないがイベントで行っている。	・保護者会は開催していない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・何かあった時には情報を共有し対応している。	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・何かあった時には情報共有を行い対応している。 ・Lineやインスタグラム、張り紙などを使用している。		
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・決められた場所に置くなど留意している。		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックの時だけ教室内で行っている。 ・フィードバックの時にはマイナスな発言で終わらないよう配慮している。 ・伝え方には配慮している。 ・一人ひとりに合った伝え方、関わりを意識して行っている。 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民は招待していない。 	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・周知はもちろん、実際に訓練をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CPRの研修はあってもいいと思う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・必要な訓練は行なっている。 ・避難訓練を行なっている。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・状況を確認している。又、変更等があればすぐに共有をしている。 	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・おかしを配布するときには、アレルギー表示を掲示し対応している。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて研修や訓練を行なっている。 	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・契約の時に伝えをしている。 	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・方策について検討し共有をしている。 ・職員間で検討し、連絡事項等を通じて全員に周知をしている。 ・他教室のヒヤリハットや事故も共有し同じようなことが起こらないように話し合いをしている。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・研修を行なっている。 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・契約の時に伝えをしている。 		